

## 生活環境影響調査の手法

区分	選定する生活環境影響調査項目	標準的な予測手法	分析すべき影響
大気質	焼却施設の煙突からの排ガスについては、SO <sub>2</sub> 、NO <sub>2</sub> 、浮遊粒子状物質（ばいじん）、塩化水素（HCl）、ダイオキシン類その他処理される廃棄物の種類及び性状から影響が生じると予想される項目 廃棄物運搬車両の排気ガスについては、NO <sub>2</sub> 等	プルーム式、パフ式等の大気拡散式を用いて大気質濃度を予測する方法	寄与濃度が最大となると予測される地点及びその周辺の人家等を含む地域における影響
水質	処理施設から排出される排水については、BOD（排出先が海域又は湖沼の場合はCOD）、SS、必要に応じて窒素含有量及びリン含有量その他処理される廃棄物の種類及び性状から影響が生じると予想される項目	数値シミュレーション手法を用いて水質濃度を予測する方法	水道の取水地点における利水上の障害等の影響
騒音	処理施設又は廃棄物運搬車両等から発生する騒音	騒音の距離減衰式を用いて騒音の大きさを予測する方法	騒音の大きさの寄与が最大となると予測される処理施設及び廃棄物運搬車両により交通量が相当程度変化する主要搬入道路沿道周辺の人家等が存在する地点における影響
振動	処理施設又は廃棄物運搬車両等から発生する振動	振動の距離減衰式を用いて振動の大きさを予測する方法	振動の大きさの寄与が最大となると予測される処理施設及び廃棄物運搬車両により交通量が相当程度変化する主要搬入道路沿道周辺の人家等が存在する地点における影響
悪臭	煙突等から排出される悪臭、処理施設から漏洩する悪臭又は廃棄物運搬車両から排出される悪臭については、廃棄物の種類又は性状により排出が予想される悪臭物質又は臭気指数等	煙突等から排出される悪臭については、プルーム式、パフ式等の大気拡散式を用いて悪臭濃度又は臭気指数を予測する方法 処理施設から漏洩する悪臭については、同種の既存事例からの類推による方法	煙突から排出される悪臭については、寄与濃度が最大となると予測される地点及びその周辺の人家等を含む地域における影響 処理施設から漏洩する悪臭については、処理施設周辺の人家等が存在する地域における影響
地（陸上埋立のみ） 下水	地下水の流れ	地下水位の変化や湧水量の計算に用いられている一般的な解析式又は定性的な予測方法	埋立地の存在による地下水の水位や流動状況への影響

(注) 同等の大きさの寄与が複数地点において生ずる場合は、それら全ての地点

## 処分業対象施設に係る生活環境影響調査の記載事項

法対象施設はもとより、処分業対象施設についても生活環境影響調査をまとめるものとする。

環境影響要因（発生源）、水質の場合なら放流先（河川、海域）の状況、民家の立地状況などを明らかにし、予測結果又は環境保全対策などから影響を分析する。

なお、工事中の影響については、協議する必要はない。

### （検討事項）

#### 1 大気汚染

燃料使用施設を明らかにし、その施設からの影響を分析する。

粉じん発生の要因があれば、その影響を明らかにする。

必要に応じ、廃棄物運搬車輛の発生台数も明らかにし、その影響を分析する。

講ずる環境保全対策があれば、それも明らかにする。

#### 2 水質汚濁

排水の放流があるか否かを明らかにする。

放流があれば、水量、水質、放流先を明らかにし、その影響を分析する。

必要に応じ、水処理施設の概要も明らかにする。

#### 3 騒音

騒音の発生源を明らかにし、その影響を分析をする。

廃棄物運搬車輛の発生台数、運搬経路、周辺民家の立地条件（距離、立地数）を明らかにし、その影響を分析する。

類似施設の苦情発生状況を調査し、その対策についても明らかにする。

#### 4 振動

騒音と同様

#### 5 悪臭

悪臭の発生源、周辺民家との距離などを明らかにし、その影響を分析する。

類似施設の苦情の発生状況を調査し、その対策についても明らかにする。